

ジオカレッジのティーチング・アシスタント

高知大学・一般社団法人ジオカレッジ学術顧問
藤内智士

1) ティーチング・アシスタント (TA)

2022 年に始まった一般社団法人ジオカレッジ (<http://geocollege.jp/>) の 3 回目の夏スクールを、2024 年 8 月 8-10 日に 2 泊 3 日で行いました。このイベントで、大学生や大学院生のティーチング・アシスタント (TA) の存在は欠かせません。TA は、準備・片付け・補助に加えて、期間中は宿泊も含めて子供たちと一緒に過ごし、学習の手伝いや安全の確認を行います。今回の夏スクールでは、6 人の TA が参加してくれました。参加した児童・生徒が 13 人だったので、子供 2 人につきほぼ TA 1 人の割合です。

2) TA は子供たちの憧れ

活動を通して感じることは、子供たちが TA を慕っていることです。授業中や授業の合間に交流している様子がよく見られました (写真 1)。私を含めた講師陣もちろん、話しかけたり穏やかに振る舞ったりと、子供たちと交流する努力をしています。しかし彼らにすると、「タテの関係」である先生たちには、近づきづらい部分もあるでしょう。

それに対して、TA は「ナナメの関係」です。頼りになるお兄さんお姉さんといった感じかもしれません。2 日目の夜に、TA の 1 人が宿泊所の外でカブトムシを見つけました。熱狂した子供たちは、すぐにカブトムシを取り囲んで観察をしていました。次の日の朝ご飯のときは、子供たちと TA でクワガタのアゴの形について話が盛り上がっていました。色々できて物知りな TA は、カッコいい存在なのです。

3) TA も成長する

TA として何度もイベントに参加してくれる学生もいます。彼らを見ていると、回数を重ねるごとに動きに迷いがなくなり、「実力と気品とたくましさ (私が通った高校の校訓)」を身に着けていくように感じます。夏スクールの最後は、班ごとに活動を報

告する発表会があります。緊張しながら頑張って発表する子供たちだけでなく、一緒に舞台上がって恥ずかしがりつつも充実した表情の TA を見るのも、発表会での私の楽しみの一つです (写真 2)。



写真 1: 子供たちは自然と TA の周りに集まってくる。



写真 2: 夏スクール最終日の発表会準備。この後に、迎えに来た保護者の前で班ごとに発表する。

< 著者連絡先 >

藤内智士 (とうないさとし)

高知大学理工学部

780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1

E-mail s-tonai@kochi-u.ac.jp

TEL 088-844-8694